

◆クラブテーマ◆

「八重山の未来へ奉仕しよう」

会長：黒島 剛 副会長：大浜 勇人 幹事：吉田 貴紀 副幹事：松田 新一郎

公共イメージ委員長：山下 暢 SAA・出席委員長：玉城 力

クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくるくる(心)

今月のロータリーレート 1\$¥112

島素材の産物

～島の素材を活かす知恵と技～

【粘土】

八重山の焼物の歴史は約300年前にさかのぼります。それ以前はパンナリ焼のような土器質のもので、本格的な陶器の製作は王府の命により陶工が往来することに始まり、八重山古窯6窯が記されています。しかし、明治以降窯業は途絶え、記録も少ないようです。ここ数年の検証技術の進歩により、発掘品の粘土・釉薬などが調査され『古陶・八重山焼』の実態が解明されようとしています。八重山は古くから作陶家がロマンを抱く風土なのかもしれません。[資料協力:アンパル陶房]



SERVE TO
CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊にするために

2021-22年度RIテーマ

RI会長：シェカール・メータ

地区ガバナー：若林 英博氏

「世界で、日本で、地域で良いことをしよう」

☆大きな目標と5項目☆

1. 新型コロナウイルスで困っている人々を支援しよう
2. ポリオ根絶に向けて頑張ろう
3. 元気なクラブになろう
4. 会員増強・クラブ拡大をする覚悟をもとう
5. ロータリーの公共イメージをアップさせよう

10月のプログラム 10/20(水) 会員卓話:仁開 一夫 氏

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

☆会員総数:45名 出席義務会員数:44名
 ☆出席人数:28名 欠席人数:16名 出席率:63.63%
 <<司会進行:玉城 力>>
 ☆ロータリーソング :手到手つないで 四つのテスト
 ☆ソングリーダー:松田 新一郎
 ☆メークアップ:大瀧 達也 佐久本 達 森田安高

会長挨拶:黒島 剛



先ほど、副会長の大浜さんからも有りましたように、地区補助金の申請は大変大事なので、皆さんのアイデアも出して頂いて申請が通るように頑張りましょう。私の方は、与那国中学校、久部良中学校に伝統太鼓を5個ずつ寄贈する予定です。太鼓はいま作っている最中なので、上手く行けば12月頃に与那国の方で例会が出来たらいいなと思っています。飛行機に乗って観光もしながら、新しい町長にもご挨拶しながら、日帰りの例会が出来たらいいなと思っています。私事ですが、映像工場を作りまして30周年になりました。それで皆さんのテーブルに30周年と書かれたボールペンを置いてあります。これは携帯も触れるようになっていますので、どうぞお使いください。30歳の時に、映像工場という映像のプロダクションを作りました。皆さんがよく見かける道でカメラマンがマイクを持ったり三脚を持ったりしている撮影隊がありますが、あの機材は相当高いんです。カメラ1個で750万とかマイクとミキサーで100万とか、三脚が100万、全部合わせると1千万円の機材が動いている世界で仕事をしています。そういう仕事を30歳の時にやろうとすると、30年前はみんなに反対されました。そんなもので成り立つのかと。どうしてもやりたくて機材を買って会社を作りましたが、なかなか仕事がなく那覇の方に出稼ぎに行っていました。那覇はやっぱり撮影会社もあり、コマーシャルを作ったりイベントの撮影とかを沖縄本島の方に行ってやっていました。そんな中で、私が作ったコマーシャルでヒットしたのがサザンパレルというこの国は凄いぞのシリーズで、風のどなんの曲を使いながら作ったコマーシャルがあります。那覇マラソン、沖縄マラソンのバイクの中継体制というのを、名古屋の方の女子マラソンの専門分野の皆さんから教わって、沖縄でもバイク中継が出来るようにシステムを作ったりと、若いときは頑張っていました。カメラというのは目で回すのではないよと言います。映像の撮影をするのは耳が大切なんです。耳で反応しているのを気付いてカメラをふっていき、人がおしゃべりしているのを耳がキャッチしてカメラをふって目で回すというのが基本です。いろんな場所で撮影の仕方の講演会もさせて頂いています。この前も海上保安庁の巡視艇で、皆さんに撮影はどういうふうにするかという勉強会がありました。いつどこで何があったかというのを明確に撮影しなくてはいけないというような勉強会もしています。カメラマンをしているなかで15年ほど前のことで

ですが、踊りの大御所の先生方が八重山舞踊を勉強して、舞台監督をしないかとの話があり、勉強して舞台監督の仕事も頑張っている次第です。これから40周年に向けて頑張ってもらいますので今後とも、よろしくお願い致します。

◆◆◆幹事報告:吉田 貴紀◆◆◆

11/4にコザRCの60周年記念式典・祝賀会が行われます。現在申し込まれている石垣RC参加者は10名となっております。緊急事態宣言も明けたので、お時間ご都合のつく方はぜひよろしくお願い致します。また、コザRCの式典が終わったあとに、移動の手配や二次会の会場などは私の方で手配させていただきます。来月の23日にRLIの講習が那覇の方で開催される予定となっております。時間は9:00からとなっております1日かけてロータリーのことを勉強するセミナーでございます3年未満の会員の方々も勉強になりますので、ぜひ参加して頂けたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

◆ 会員・委員会からの報告 ◆

大浜勇人副会長:次年度の財団の地区補助金の申請の時期にきております。いろいろと探してはいますが、なかなかいいネタにめぐり合っていないところがございますので、ぜひこういうのを試みたらどうかというものがありましたら教えていただければ幸いです。よろしくお願い致します。

◆ 会員卓話:橋本 孝来 氏 ◆

テーマ:新型コロナウイルス緊急事態宣言が明けて

皆さんこんにちは。ちょうど一年前に、かりゆし病院でクラスターを出してしまいまして、その節はたくさんの励ましを頂きまして本当にありがとうございました。何とか乗り切っています頑張っております。「最近の研究データとこれからの展望」ということで、少しスライドを見ながらお話をさせていただきます。新型コロナウイルス感染症の国内発生動向ということで、第1波、第2波、3波、4波、5波とあって、第5波が大変多かったわけですが、その都度、緊急事態宣言というのが出されました。第5波がどうなるのかなと思ったら、急速に収束していく傾向に向いました。こんなに急に、よく収束したなと思うんですけども、第2波や3波は、そんなに山が高いわけではないのに、亡くなった方が多かったです。しかし第5波の山の高さから見ると亡くなった方は非常に少ないんですね。それは何故か、やはりワクチンが非常に普及して、特に高齢者の方からワクチンを打ち始めたので、死亡率の高い高齢者を抑えたことが大きい。石垣市は介護施設を中心に打っていったということで抑制したのかな、勿論あとは皆さんの行動制限が非常に大きかったのではないかとこのように思います。当然、感染者が多いとそれなりの重症者も出るというのは仕方がないことです。Slackにも上げましたが石垣市の8月の年齢別のコロナの陽性者数ですが、最初の頃と違ってずいぶん若い世代にピークがきています。60代から80代はほとんど上がっていないということですね。この傾向というのは全国的でありまして、第5波は非常に感染者数が多かったもんですから、自宅待機やホテル待機者が非常に多い。その人たちの健康管理をどうするかというと、若い年代はみんなスマホができるのでスマホで情報集めて、

一日に3回、多い人は8回ぐらい情報を医療側に送って貰えることができ、東京などではかなりそういうふうにやっていたみたいです。石垣の陽性者8月は298人です。その内訳をみるとワクチン未接種者が非常に多かった。ワクチン2回打った人は17%ぐらいで未接種者が72%です。これはワクチン事態の感染抑止力というのがありますし、ワクチンによって無症状の人が非常に多いので検査に関わってくる人自体が少し減った可能性もあります。コロナウイルスと言いますと、変異というのが非常に多くてこれが厄介だったわけですが、アルファ、ベータなどはよく出てきますが、実際は非常に多くの変異が存在します。ウイルスの変異に私たちは追いかけていけなくて、トゲトゲがいっぱいありいわゆるスパイク(S)その内側にゲノム(RNA)これが入っているわけです。このスパイクの部分に対する抗体を作る、それがワクチンです。ウイルスの中のRNAをどうしようという話ではなくて、これに抗体をくっつけて細胞に入るのを邪魔するというものなので、これが核のなかに入って不妊になるとか癌になるとか、それは理屈からいって当たらないということですね。変異というのはスパイクのところが変わるんですね。人の細胞にくっついて外れやすい変異、外れにくい変異があって、これによって悪さ加減が決まるんですね。本来は核酸も変異するとそれ自体大体は弱くなるんです、オリジナルよりも。だけどなかには感染性が強くなったり毒性が強くなったり、あるいは免疫から逃れやすいとか、こういう変異をする代表がデルタ株で、この間の第5波だったということですね。繰り返しますが、ワクチンというのはスパイクを押えるのであることを認識して貰いたいと思います。デルタ株は非常に強力で伝播性が高い、即ち感染性が高いという話なんですが、アルファ株もベータもこれぐらいですが、デルタは幅もあります。従来株に比較して97%UPで、大体2倍ぐらい拡がりやすいです。例えば従来株だと1.5倍ぐらい離れてお話ししたのと、デルタ株だと3倍ぐらい離れてお話しのと一緒ぐらいウイルスが飛んでしまう。確かめられてはいませんが、非常に小さい粒子が空気中に飛びやすい、いつまでも漂っているということで空気感染に近いので換気をしないとダメだよという事よく言われております。デルタ株の病毒性の上昇ということでいうと、感染して入院するリスクがアルファ株と比較して1.85倍(スコットランド)ありました。カナダからの報告では、従来株と比較して入院のリスクが2倍になっています。シンガポールの報告だと、酸素投与、ICU入院、死亡の複合アウトカムが5倍。ちょっとタチが悪いという感じなんでしょうかね。これは感染するウイルスの量、人間の細胞にくっついて免疫から逃れる力が関係しているというふうに言われています。ウイルスに感染して身体の内側で中和抗体ができるわけですが、感染して12ヶ月後に免疫が残っているかというのを調べたものですが、アルファはこれぐらい残っていたけれども、デルタはかなり落ちてしまうということなんです。ファイザーワクチンを打った血清を調べると、アルファだと8週間後でも抵抗力が残っていたのに、デルタは抵抗力が落ちてきている。ワクチンを打ってもかかる人、感染したのにまたかかるという事が起こりうる。またベータというのはあ

まり話題にならなかったんですけども、かなり抵抗力が落ちていきます。少なくとも、この抵抗力、免疫逃避というのがワクチン接種後の感染に影響を与えるということなんです。結局はワクチンを接種しても感染することはあります。けど、重症者は防げるよというのを示したグラフです。イスラエルのは信憑性が高いと言われていますけれども、アルファ株に対してはかなり感染を抑えるし、症状が出るのも抑えるし、重症化するのも抑える。ただデルタ株に対してこのワクチンは感染予防に関しては64%で36%は入ってしまう。ウイルスが入ってしまった人の64%は発症を抑えてくれたけど、36%は症状が出てしまう。ただ、入院になったり重症になったりするのはいくら抑えるということ、死亡することはかなり少ないということがどこの国のデータでも出ています。ここで抗体と言っていますが、スパイクのところに中和抗体がくっついて人間の細胞に接触して感染するのをブロックしてくれるものを示して感染の記憶としてできる血清抗体とは別物です。ワクチンを打っても実際にかかっても、段々と中和抗体の量が減っていているというのは分かっている。では、どのくらい減ったらやばいのかというのは、あるいはいくらまで減っても大丈夫かというのは分かっているんです。これを調べていくのがこれからじゃないかなということ。ただ人によってちょっと減ってもやばい人もいます。例えば、ある種のホルモン剤で治療中の方とかですね。どうしても減ってくるということでは3回目を打つかという発想が出るわけですね。ブレイクスルーとよく言われますが、ある程度の中和抗体があると殆どが無症状で陽性者の発見がなかなか難しいですね。先日、聖紫花の杜で10名程の感染者が出たんですが、あれは非常に分かりにくかったです。当日のうちに全職員と全入所者を調べました。そうすると何と100歳以上の方が一人陽性になっていて、無症状だったんですが、これは大変だということすぐに八重山病院に入院しました。でも何事もなくそのままケロっと帰って来るわけですよ。感染はさせたけど、結局このおばあちゃんは何事もなく、元気に帰って来てご飯もパクパク食べていてワクチンというのは大したもんだなと思いました。では3回目打ったらどうかということで、これはあくまでも臨床実験としてやってみたら、かなり中和抗体の量は増えているみたいです。ファイザーで65歳から85歳は免疫的に弱い人は意外に11倍以上の中和抗体が増えると、モデルナは42倍に増加しましたということです。抵抗力が弱い世代にターゲットを絞って打つという考え方もだいぶ広がってきています。政府が3回目を行うとコメントしたことが新聞に載っていました。小さな集団のデータだけではなくて、少し大きな集団ではどうか、これはイスラエル等の調べてあって、やはり3回接種すると、2回終わった人と比べると11.4倍、重症化を予防することも15.5倍ですね。現場的に3回目のワクチン接種は非常に良いんだ、というふうな答えだったそうです。まとめになりますが、デルタ株では従来株よりも伝播性と病毒性の上昇がみられるました。けれども、発症予防と重症化予防効果が認められたということです。感染のリスクは64%で従来株よりも抑えられなかったけれども、重症化は94%以上を抑えられることができました。集団免疫についてですが数学的に計算して伝播性が2倍になると基

本再生算数は5~9、つまり一人の患者さんから5人から9人がそのままどうつりますよという数字になります。その生産数だと集団免疫を獲得するには8割から9割のワクチンを打たないといけない。それは現実的には難しいねということで、感染予防の継続はどうしても必要だということになります。人の細胞のなかに入らないとウイルスは増えきません。集団免疫は、病原体菌が入ってきて抵抗力がない人に感染者を作り出して行くわけですが、免疫を持っている人が大勢いると、病原体が入るチャンスが非常に少ないと、免疫を持っていない人も守られるというのが集団免疫です。3回目のワクチン接種は、8月、9月からイスラエル、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカ、シンガポールは具体的にスタートしています。国によっては60歳以上とリスクがある人に打ちましょと、もうスタート切られているわけです。やっぱり経済力ですね。あとはデータや研究者のサイエンスをきちんと信頼して国が施策を出す、こういうところがやはり凄いなと思いました。ただアジア人のデータがふんだんにあると、日本も動きやすかったんじゃないかなというふうな多少、同情的に思うところもあります。ワクチンについて、ワクチンは効きます。3回目接種についてもさらに検討が必要です。非常に多くのいろんな変異株に対して、このワクチンは効いているんですね。インフルエンザワクチンの比じゃない相当優秀なワクチンです。インフルエンザワクチンを打ってもAやBにかかる人もいますし、それに比べ

とかなり素晴らしいかなと思います。今後、注目すべき変異株も上がってきています。さてメルク社から飲み薬も出ています。モルヌピラビルという飲み薬で、入院のリスクを半分に減らしましたということです。ただ誰にでもは処方しませんよというふうな事になっているようです。今後のことですが、これまでいろんな変異があって、いろんなウイルス株に立ち向かってきました。行動制限をやってきて、ワクチンが入り、内服薬が3月ぐらいにはいけそうだという話もありますし、塩野義製薬でも作っているようで、政府も早く認可しようと動いているようですので、そういうのが出てくると、かなり制限も緩和できるのではないかと思います。治療薬が普及するまでには時間がかかるので、その間は多少の行動制限が加わるのかも知れないですけれども、ある程度段階的に経済活動の再開が出来るのではないかなと思います。死亡率が十分に下がれば一定数の感染者数は容認されるのではないかなと言われております。今後の展開としては、2類から5類へいくと多くの方がおっしゃっています。それには3回目も含めた適切なワクチンのデザインが必要。それから外来診療レベルでかかりつけ医のところであれば処方して貰える治療薬が広がればと思います。あとは後遺症の問題が言われています。特に子供達ですね。学校がずっとお休みで子供たちの心身の成長や人間形成に及ぼす影響とかも長期に調査を行うことが必要かと思ひます。ご清聴ありがとうございました。

～ 例会風景 ～



本日のニコニコ: ☆黒島剛氏:橋本先生、いきなりの会員卓話ありがとうございます。☆上勢頭保氏:本日の卓話、橋本先生の新型コロナ対策、医療従事に深く感謝いたします ☆宮良榮子氏:橋本先生の卓話に感謝 黒島会長設立 30周年おめでとうございます。 ☆橋本孝来氏:黒島会長 30周年おめでとうございます。 ☆大田次男氏:映像工場創立 30周年おめでとうございます。 ☆大浜勇人氏:映像工場創立 30周年おめでとうございます。 ☆東上里和広氏:会長ペンありがとうございます。早速ニコニコで使わせていただきました。 ☆今西教之氏:橋本委員長、本日の卓話よろしくお願ひ致します。 ☆吉田貴紀氏:橋本先生、コロナの会員卓話、勉強になりました。ありがとうございます。 ☆松尾和彦氏:誕生日ケーキありがとうございます。 ☆山下暢氏:久しぶりに修学旅行オが戻ってきました。橋本先生、卓話ありがとうございます。

◆BOX ¥11000(累計¥48,000) ◆コイン ¥3,526(累計¥15,684) 合計 ¥63,684



大濱 達也 氏 6日(水) 松田 新一郎 氏 6日(水) 宮良 薫 氏 12日(火)
西表 浩司 氏 14日(木) 上原 晃子 氏 23日(金) 今西 敦之 氏 28日(木)

